

協議会委員参加者

- 西田 芳正 (大阪府立大学人間社会学部教授)
山野 正広 (和泉市総務部人権・男女参画室長兼人権国際担当課長)
桑原 園子 (PTA会長)
松井 昭浩 (和泉市立和泉中学校長)
富永 順三 (榊ナレッジパートナー代表プロデューサー、本校4期生)
田中 恒子 (地域教育相談員)

- (1) 会長挨拶
- (2) 平成28年度学校経営計画の評価及び平成29年度学校経営計画の概要
- (3) 本年度の取り組み・生徒状況
 - ① 進路指導について (楠本)
 - ② 生徒指導について (北埜)
 - ③ 人権教育について (東)
- (4) 教員の授業その他の教育活動に関して学校協議会に寄せられた意見
- (5) 本校の教育活動に関する意見交換
- (6) 校長謝辞

[主な質問、意見等]

○は質問、 →は答え、 ●は説明、意見、感想

- 今年度学校経営計画の中にある地域等との交流・連携とはどんなものか。
→和泉市が行うふれあい体験事業活動の中に、地域つながり活動(地域巡回)があり、月に1回夜回りをして
いる。また、これとは別に、地域の小学校、中学校、高校で連携して、夜回りを月に1回している。その他
に、本校は泉大津市隣接中高連携推進協議会に入っており、中高での授業交流(授業公開)や本校教員によ
る中学校への出前授業、本校生徒による出身中学校への出前講演を行っている。また、地域の大学へのオー
プンキャンパスにも参加している。
- 進学、就職の決定した生徒はおおよそどのくらいか。
→進学が約120人、就職が公務員含めて約80人
- そのことから未定の生徒はどのくらいか。
→約50人。
- 未定の生徒は進路に対して満足しているのか。
→さきほどの進路指導の説明の中であった生徒のアンケート結果によると、満足している生徒が多い。卒業後
のアルバイトは未定に入るが、在学中のアルバイトを卒業後も引き続きしたり、アルバイトから正社員にな

ることを考えているので、ある程度満足している。また、進学したいが、進学費用が準備できないので、1年間アルバイトをして費用をためてから進学しようとする生徒もいる。こういう生徒もある程度満足している。

- 今年度だけでなく、年度ごとの進路別人数をデータとして知らせてほしい。そこから進路指導に生かせるようなことが出てくるかもしれない。
- 進路については、卒業後、追跡調査はやっているのか。
→5月ごろやっている。
- 専門学校で、理美容系に進学した生徒が多いが、専門学校卒業後の就職を受け入れるところはあまり多くないように思う。専門学校に進学した生徒が10年後、どうなっているのか追跡調査をやってほしい。
- 遅刻が年度ごとに減ってきているのはどういう理由か。
→ある期間で何回遅刻をしているのか、生徒自身があまり把握していなかった。遅刻をしたときに、一覧表にそのつど記入させることによって遅刻の回数を確認させることができた。また、遅刻をカウントする期間を短くして、より遅刻の回数を意識させた。生徒がどのくらい遅刻をしているのかわかりやすくしたのが大きかった、と思う。
- 小学校、中学校では、SNSでのトラブルが多いが、高校ではないのか。
→本校ではあまりない。
- 犯罪防止のために、外部講師に来てもらって講演をやっているのか。
→1, 2年生対象に、1年に1回、交通安全講話や薬物乱用防止教室を行っている。
- 生徒は大阪府の条例で決まった自転車保険に入っているのか。
→全員、全国高P連の賠償保険に入っている。
- 来年度スタートする総合学科では進学向けの分野があるのか。
→5つの系列があるが、その中に文理探究系列という進学向けの系列がある。
1年のときは、全員に対して英・数・国(計13時間)をしっかりと学習させる。
- 総合学科スタートに当たってどんな予算がついたのか。
→アクティブラーニングルームを作った。前に3つのスクリーン、横に2つのスクリーンがあり、それぞれのスクリーンで、生徒の発表ができる。また、タブレットパソコンで、生徒がそれぞれ調べ学習をすることができる。また、進路ガイダンスルームを作った。ノートパソコンを6台入れたので、生徒がそれぞれ進路について調べることができる。また、学習机をいれたので自習室としての役割もある。
- いろいろな講座があるが、講師の予算はつくのか。
→つくので教員が増えることになる。
- 就職コーディネーターが今まで配置されていたと思うが、どんな仕事をしていたのか。
→求人開拓や面接練習、生徒の進路相談に対するアドバイスなど。
- 来年度は就職コーディネーターが配置されない、と聞いたが、どうするのか。
→本校は女子が多く、希望の求人票が少ないという状況が以前からあったので、求人開拓をしっかりとやっていくという方針でやってきた。就職コーディネーターにも主に求人開拓を中心の取り組んでもらったので、開拓してもらった会社とのつながりを来年度以降も大事にしていきたい。